

再発防止策～当面速やかに取り組む事項及び今後の検討の視点～

検証委員会報告書における 再発防止策(提言)

- ① 業務過多の解消
- ② 統計を統合的に理解する職員の配置
- ③ 職員の専門知識の習得
- ④ 専門家との相談体制の構築
- ⑤ 問題発見時の対応方法の明確化及び問題の発見と解決を奨励する風土の形成

※報告書の提言順に記載

今後の検討の視点:省全体

- 各職員が気兼ねなく意見を言え、問題発見・報告のみならず、柔軟で斬新な発想を提案できる職場づくり
- 組織風土改革における若手職員や現場担当職員等の中心的役割
- 管理職員のマネジメント能力・コンプライアンス意識の向上
- 実施段階をおろそかにしないPDCA・EBPMの強化
- ネガティブ情報(問題、誤り等)把握時の「報連相」ルールの明確化及び遵守の徹底

当面速やかに取り組む事項

- 統計部門の人員体制の増強[①・②関係]☆
- 調査のオンライン化の促進[①関係]☆
- 統計研修の受講徹底[③関係]
- 統計専門家のアドバイザーへの任命と相談の開始[④関係]☆
- 統計担当をはじめ若手職員や現場担当職員等と大臣や政務二役が懇談する機会の設定[⑤関係]
- 組織風土改革に向けた若手職員や現場担当職員等によるグループディスカッションの定期開催[⑤関係]
- 部署内ミーティングの定期開催による工程管理の共同チェック[⑤関係]☆

(☆は既に取り組んでいる事項)

今後の検討の視点:統計部門

- 若手職員や現場担当職員等の意見に基づく職場の風土・環境の改善
- 実務部門の体制強化と統計の改善力・企画力の強化
- 人材育成の充実(研修強化、人事交流、専門家や同種業務他組織との交流)
- 品質改善の仕組みの構築(ユーザーニーズを踏まえた統計業務の合理化・効率化、統計ユーザー等が求める品質への改善、問題を発見した者を人事上評価等)
- 統計のオープン化(処理方法・回収率・標準誤差率等も見える化、統計ユーザーからの意見・ニーズの把握等)
- PDCAサイクルを支える専門性の高い統計プラットフォーム機能の強化等
- 統計DXの推進(建設業、建築工事データ等の行政記録情報の電子化の活用も視野)

※上記のために必要な予算等について、概算要求に向けて検討